



ラウル・デュフィ《電気の精》よりI~III、1937年制作 / 1953年発行、市立伊丹ミュージアム蔵

**I'M**  
COLLECTION

2025.1月18日 | 土 | - 3月23日 | 日 |

月曜休館 (ただし2月24日は開館、翌25日は休館)

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は17:30まで)

会場 | 市立伊丹ミュージアム 展示室1・2・3

主催 | 市立伊丹ミュージアム [伊丹ミュージアム運営共同事業体 / 伊丹市]

料金 | 一般 400 (300) 円、大高生 300 (200) 円、中小生 (100) 円

※( )内は20名以上の団体料金

※兵庫県内の小中学生はコロンカード提示にて無料

※伊丹市在住の高齢者料金有

(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

市立伊丹ミュージアム

Itami City Museum of Art, History and Culture

# I'M COLLECTION

市立伊丹ミュージアムが誇る収蔵品を一堂に集めてご紹介する「I/M Collection (アイムコレクション)」展の第2弾。

今年のテーマは「博覧会」、「旅」、「春」。今春に開催される大阪・関西万博にちなみ、1937年のパリ万国博覧会のために描かれたラウル・デュフィの壁画《電気の精》のリトグラフ(10点組)や、1877年(明治10)に開催された第1回内国博覧会に出品された三代歌川広重《大日本物産図会》などを展示します。また、「旅」では精力的に日本全国を歩きまわった俳人の河東碧梧桐に関する資料や、現代美術家の牡丹靖佳がオランダの港町アムステルダムを舞台に描いた絵本『ようこそロイドホテルへ』の原画などを、そして「春」では、江戸時代に上方で活躍した俳人の井原西鶴が長寿を詠んだ賛に若松と鶴の図を添えた《門松自画賛》や、ベルギーのガラス作家ルイ・ルルによる《花器》などを展示し、美術・工芸・歴史・俳諧俳句の各分野におよぶ名品や初公開となる作品と資料、約190点をご紹介します。



井原西鶴《門松自画賛》紙本淡彩、公益財団法人柿衛文庫蔵

### ■ 出品作一例

井原西鶴《自画賛十二か月》(伊丹市指定文化財)

松尾芭蕉《「山吹や」句自画賛》

\* 上記は公益財団法人柿衛文庫蔵

\* 一部の出品作は会期中に展示入替があります

谷川晃一《楽園の蛇》1989年、アクリル/キャンバス  
スチューベン《アイスハンター》ガラス



「碧梧桐外遊トランク」  
公益財団法人柿衛文庫蔵



上: パブロ・ピカソ《フランコの夢と嘘》第2葉

1937年、エッチング、アクアチント/紙

中: 三代歌川広重《大日本物産図会》より「摂津国伊丹酒造之図」

1877年、錦絵

下: ルイ・ルル《花器》1991、ガラス

\* 全て市立伊丹ミュージアム蔵

### ■ 同時開催 (全て入場無料)

\* 旧村シリーズ16「岩屋・森本一村の生活、空港一」

会期: 1/18(土) - 2/23(日)、会場: 展示室5

\* 第48回学習参考展「むかしのくらし」

会期: 1/18(土) - 2/23(日)、会場: 展示室6

\* 伊丹美術協会展

会期: 2/28(金) - 3/9(日)、会場: 展示室5・6

\* 伊丹芸術家協会展

会期: 3/12(水) - 3/23(日)、会場: 展示室5・6



〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20

TEL. 072-772-5959 (代表)

<https://itami-im.jp/>

### ■ 交通案内

\* 阪急伊丹駅より北東へ徒歩約9分

\* JR伊丹駅より北西へ徒歩約6分

\* 阪急バスの伊丹中央停留所より北へ徒歩約3分

\* 専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。



**I'M** 市立伊丹ミュージアム  
Itami City Museum of Art, History and Culture